

科目名		授業形態	担当教員名	
生体計測装置学演習		演習	南 貴子・石川 倫子・林 幸子・ 遠藤 宏和・宮下 久美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
生理機能検査を通して、臨床工学技士に必要な生理学的知識および医用工学的知識について講義・指導する。				
授業の到達目標				
本演習を行うことで臨床実習に備えると同時に様々な計測装置の特性を知り、臨床に必要な計測装置についての知識を修得する。さらに、測定データを分析することで、臨床で遭遇しうる病態について考察できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション	16	モデル肺作成	
2	オリエンテーション	17	スパイロメータ(1)装置の原理・病態の理解	
3	心機図	18	スパイロメータ(2)測定手技の習得・波形の解析	
4	心音図	19	筋電図(1)装置の原理・病態の理解	
5	心臓超音波(1)循環器の生理	20	筋電図(2)測定手技の習得・波形の解析	
6		21	脳波(1)装置の原理	
7	心臓超音波(2)装置の原理	22	脳波(2)病態の理解	
8	心臓超音波(3)測定モードの理解	23	脳波(3)測定手技の習得	
9	心臓超音波(4)走査手技の習得	24	脳波(4)測定波形の解析	
10	心臓超音波(5)画像の解析・病態の理解	25	腹部超音波(1)装置の原理	
11	心電図(1)装置の原理	26	腹部超音波(2)測定モードの理解	
12	心電図(2)波形の解析・病態の理解	27	腹部超音波(3)走査手技の習得	
13	急を要する心電図	28	腹部超音波(4)画像の解析・病態の理解	
14	モニタ心電図	29	まとめのテスト	
15	モデル肺作成：呼吸器の生理	30		
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	90%	演習内容についての理解度やレポート提出状況などを総合的に評価する。		
小テスト	10%	まとめのテスト		
平常点				
その他				
自由記載	すべての演習に参加し、すべてのレポートを提出していることが成績評価の前提となる。			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
生理機能検査学（臨床検査学講座）	東條 尚子	医歯薬出版		
みえる人体	佐藤 達夫	南江堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
助手：石井 彩・桶谷 優斗・小松 由季・森川 真名・山崎 さや				